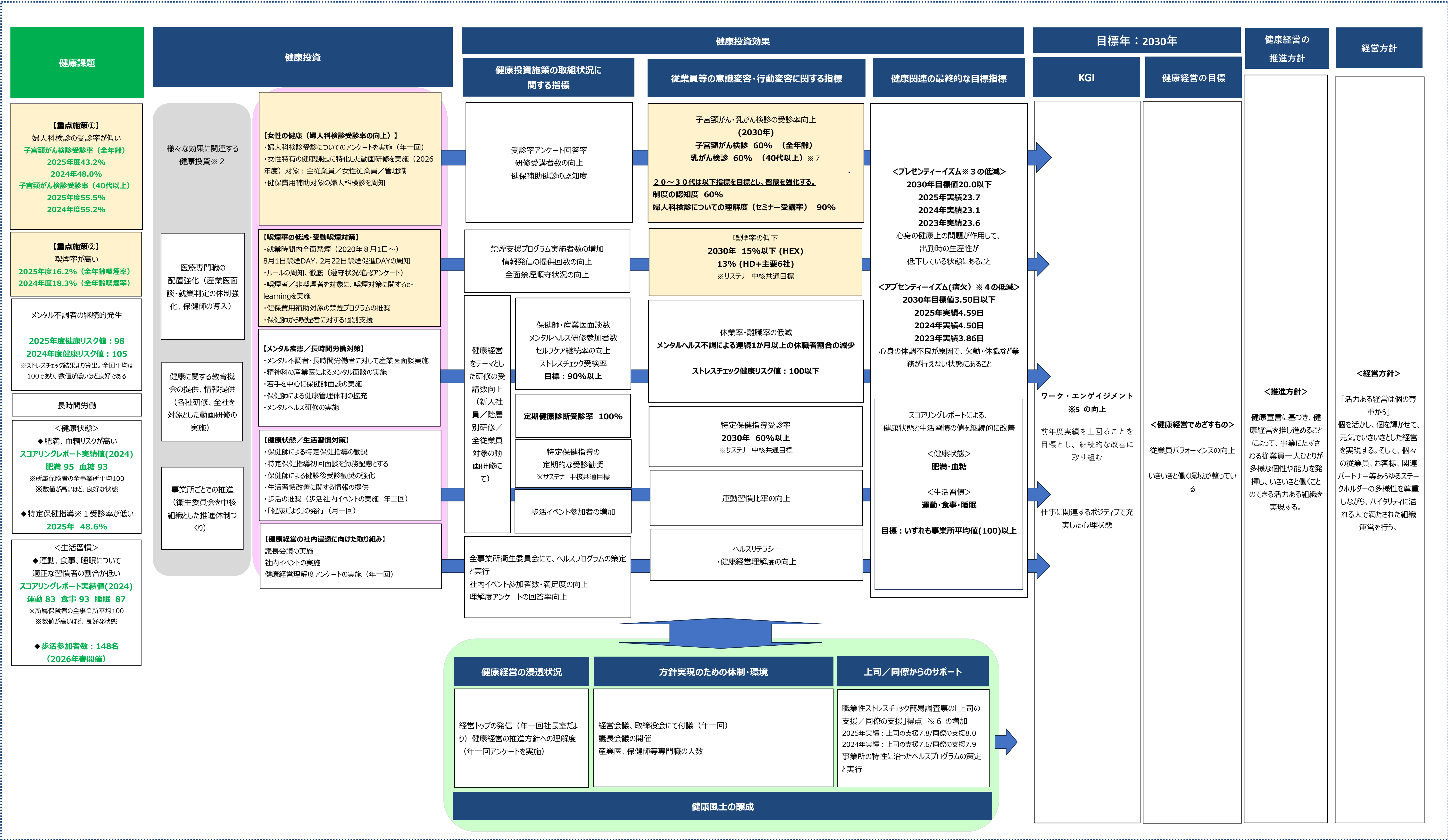


【2026年度　HEX健康経営戦略マップ】



（※ 1）生活習慣病の予防のため、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を実施。健診結果により生活習慣病発症リスクが高い対象者に対し、生活習慣改善を支援する保健指導を実施する。

（※ 2）基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。

（※ 3）プレゼンティーズムは、健康状態が仕事の生産性に与える影響についての自己評価設問（東大一項目）を、定期的に把握している。2024年度（従業員1068名対象、回答率88.5%）と2025年度（従業員1091名対象、回答率90.6%）

（※ 4）正社員の平均休業日数を算出。（正社員数 2025年3月31日時点 772人 2026年3月31日時点 788人）

（※ 5）ワーク・エンゲイジメントは、仕事の没頭感（現在行っている仕事が好きである）、仕事の充実感（現在行っている仕事にやりがいを感じている）、会社へのロイヤルティ（この会社の一員であることに誇りをもっている）の平均値を算出。2023年度（従業員1107名対象、回答率82.3%）と2025年度（従業員1131名対象、回答率68.3%）

（※ 6）「上司の支援・同僚の支援」とは、ストレスチェックにおける職場内の相談・支援体制に関する指標であり、上司や同僚への相談のしやすさ、頼りやすさ等を測定。「上司の支援」の全国平均は男性8.1 女性8.2。「同僚の支援」の全国平均は男性7.5 女性6.6。

（※ 7）2030年目標値より、乳がん検診受診率の算出対象を40代以上と変更する。20～30代については、女性の健康についての理解度と、制度の認知度を測定し、啓蒙を強化する。

社会的価値

物流事業を通じて、将来にわたり世界に貢献し続ける

企業価値

一人ひとりが個を尊重し健康で生き活きと輝くことが
将来に渡り世界に貢献する事業基盤となる